

## 平成25年度東京大学連携講座

さる平成25年12月18日（水）～19日（木）、1泊2日の日程で東京大学等の見学に行ってきました。参加者は一年生（第68回生）の希望者15名（男子9・女子6）と、武友校長、一学年主任の吉田の総勢17名です。

初日はお昼頃に東京大学に到着、早速赤門前や、あの伝説の安田講堂前で写真撮影です。



その後、講堂地下の学食にて東大の学生や職員さんたちの中に交じって昼食。学生気分をちょっとだけ満喫？

午後2時に、工学部11号館前で高田毅士教授（本校OB）と合流。キャンパス内を案内していただきました。東大生の実際の活動ぶりも見学させていただきました。



↓工学部11号館屋上から東京の街を見渡す。

〔夜景はきっとやけにきれいなん  
だろな……。by忠〕



え、女子は6名の参加だったのでは？ 実は、一番左の女子は、本校OGで東京在住のWさんのお嬢さん。同じ高校一年生ということで、特別参加してくれました。

午後4時～5時30分まで高田先生の講義。演題は「地震による建物被害軽減に向けて」先生のわかりやすい説明（たぶん、東大生相手のものとは格段に易しい内容にしていた。）で、全員集中して受講できました。



夕刻、ホテルに到着、夕食はバイキング形式で。みんないっぱい、おいしくいただきました。興奮冷めやらぬまま、就寝。

二日目 早朝よりスカイツリー見学、た、た、高い!! エレベーターの上昇スピードにもびっくり。日本の技術のすごさを実感。





ガラスの床（真下まで見通せる）があって、忠はそこで高所恐怖症のスイッチが突然入り、腰が抜けました。（従って、写真も満足に撮れていません。）生徒諸君は全く高い所も苦にせず、歩き回ってました。

東京駅で再び、高田先生と合流。二日めの講義は、東京駅と東京国際フォーラムの構造上の特徴についてでした。ここでもみんな、興味津々。国際フォーラムでは通りかかった一般の方が、高田先生の熱弁に耳を傾けていくシーンもありました。



お昼は東京姉水会（本校同窓会の東京支部）の大先輩方にごちそうになり、先輩方の貴重なお話も聞いて、大満足のうちに帰路につきました。ほんとうにほんとうに、貴重な体験ができました。お世話になった皆様、ありがとうございました。

## 生徒感想（抜粋）

・最初、私は建築学というものに全く興味がなかったし、何をするのも知りませんでした。しかし、この二日間高田先生からいろいろと教わり、少し考え方が変わったようです。もっとも印象に残っているのは、研究室で学生たちが作っていた陸上競技場の模型でした。設計図を見ても全く理解ができませんでしたが、大学で学ぶうちにこれが理解できるようになっていくのだろうか、と思うと努力して勉強することの大切さを感じました。

・今回この講座に参加して、日本一の大学のすごさを感じることができました。いろいろな設備があって、建物も古い面影を残しつつも、近代的なものもあってすごくおもしろいなと思いました。また、キャンパス内を見学して広いなと思ったし、たくさんの学生が生き生きとしていて雰囲気がすばしかったです。

・今回はたくさんの先輩方からお話が聞いて本当によい体験となりました。活躍しておられる方が多いのを知って、自分が虎高生であることがとても誇らしく感じました。私もしっかり学んで、後輩たちが誇りに感じてくれるよう頑張らなくては、と思いました。

・この二日間で僕は将来の夢について何となくではありますが、見えてきたように思います。そのためにはやはり勉強は欠かせません。今までの自分を見つめ直し将来のために何が必要かをよく考えた上で、これからの日々を過ごさなければならないと感じました。